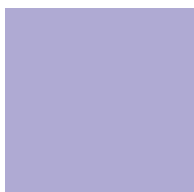


shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

FUJITSU



## 第99期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで



富士通フロンテック株式会社

証券コード 6945



取締役会長  
海老原 光博

代表取締役社長  
下島 文明

株主のみなさまにおかれましては、平素より当社グループに対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

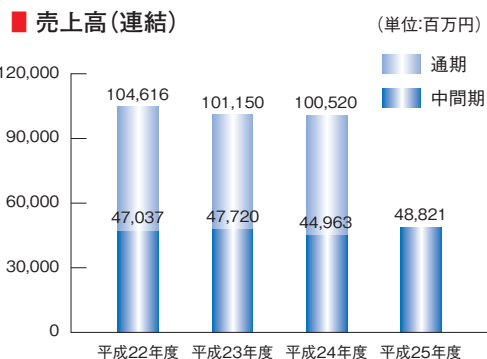
さて、当社は平成25年9月30日をもって、第99期中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申しあげます。

当中間期における経済環境は、国内外において、徐々に景気の回復基調は強まっているものの、海外における財政問題などによる下振れリスクも存在し、先行き不透明感を払拭できないまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、フロントテクノロジー製品の開発、製造、販売、サービスにおいて、プロダクトからソリューション・サービスを含めたトータルビジネスを推進することで、「B to B to Front（お客様の最前線：フロント）」という領域を担う企業としての存在感と価値を提供すべく、一丸となって事業を展開してまいりました。

## 目 次

	(頁)
株主のみなさまへ	1
セグメント別事業の概況	3
トピックス	7
連結財務諸表	9
株式の状況	10
会社の概要	11
富士通フロンテック・ウェイのご紹介	13
株式事務のご案内	14



当中間期の業績につきましては、金融ビジネスでは、海外向けメカコンポーネントおよび国内向け営業店端末が好調に推移し、流通ビジネスでは、国内外でPOSが伸長いたしました。産業・公共ビジネスでは、表示システムが伸長する一方でトータリゼータ端末が減少し、ほぼ横ばいで推移いたしました。サービスビジネスでは、金融サービスビジネスを中心に堅調に推移いたしました。以上の結果、連結売上高は48,821百万円（前年同期比8.6%増、3,858百万円の増）となりました。

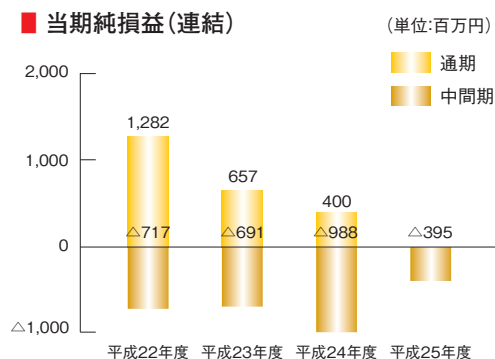
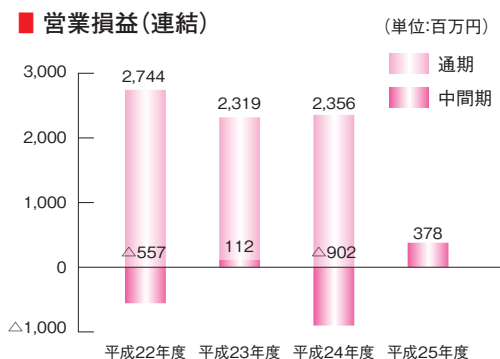
損益につきましては、金融ビジネス、流通ビジネスを中心とした売上高の増加に加え、全社を挙げて取り組んでいる費用の効率化の推進などにより、連結営業利益は378百万円（前年同期は902百万円の損失、前年同期比1,281百万円の改善）、連結経常利益は242百万円（同1,229百万円の損失、1,472百万円の改善）と大きく益転いたしました。連結中間純損益につきましては、前期から経営体質の強化を目的に取り組んでいる事業構造改革の一環として、北米子会社の事業構造改善費用や国内にお

ける人材リソースの最適化に伴う特別退職加算金等を特別損失として計上した結果、395百万円の損失（同988百万円の損失、593百万円の改善）となりました。今後も市況に左右されない経営基盤創りに取り組み、さらなる利益体質の強化を図ってまいります。

なお、中間配当金につきましては、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするため、平成25年10月30日開催の取締役会において、1株につき8円とし、支払い開始日を同年11月27日とさせていただきますので、あわせてご報告申し上げます。

当社グループは、最先端の技術で人とITをつなげる企業集団として、より一層社会の発展に貢献するとともに、企業価値の向上に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月



## 金融ビジネス

### ■ 主要な事業内容

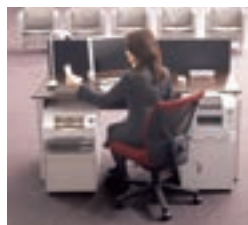
ATM、メカコンポーネント、ATMソリューション、金融ソリューション、ミドルウェア  
営業店システム、手のひら静脈認証装置



FACT-V X200



G750



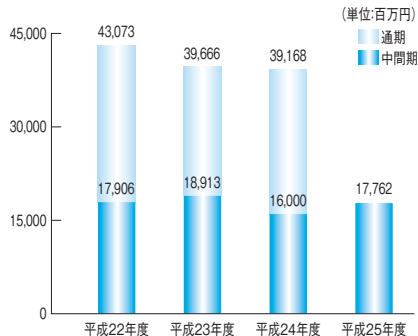
UBT-First



PalmSecure

### ■ 連結売上高に占める割合 36.4%

### ■ 連結売上高の推移



金融ビジネスにつきましては、世界的な金融不安の影響を受け、金融業界において設備投資の抑制が継続いたしました。また、中国などの新興国では、市場が拡大する一方で、価格競争の激化が進み、引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、開発の効率化・高品質化を図るとともに、市場の需要に確実に応えるべく、ATM・メカコンポーネントの新商品の拡販に努め、積極的に事業を展開いたしました。その結果、中国市場を中心に海外向けメカコンポーネントが増加したことに加え、国内向け営業店端末が引き続き好調に推移したことから、連結売上高は17,762百万円（前年同期比11.0%増、1,761百万円の増）となりました。

ATM関連では、主力機種**FACT-V X200**が実績に寄与しております。この商品は、国内最大の紙幣収納枚数を誇る次世代型紙幣ユニットを搭載し、業界トップの低消費電力も実現しております。また、同機種をベースとした通帳繰越機や、ATM上部の空きスペースに設置しATM利用者に様々な情報を配信する**ATM Comdisplay**の販売を開始するなど、ATM単体での販売のほか、周辺機器を活用した提案を活性化させ、事業の拡大に努めました。

営業店関連では、大手金融機関におけるシステム更改需要の谷間となりましたが、店頭での活用の自由度を高めた**UBT-First/UBT-SP C100**を中心に、好調に推移いたしました。また、さらなる省スペース化や高信頼性をコンセプトとした次期営業店端末**SBT-SP D200**や通帳プリンタ**ALEX-E**を市場投入するなど、積極的にビジネスを推進いたしました。

メカコンポーネント関連では、紙幣出金ユニット(BDU=Bill Dispensing Unit)が北米および中国で伸長いたしました。また、従来型の紙幣還流ユニット(BRU=Bill Recycling Unit)が欧米で堅調に推移したほか、新興国への展開を見据えて開発した**BRUG750**が中国を中心に伸長いたしました。また、中国における偽造紙幣排除のニーズに応え、紙幣鑑別・紙幣番号の認識機能を搭載した大容量タイプの新型**BDUG510-V2**の販売を開始いたしました。

セキュリティ技術関連では、手のひら静脈認証装置**PalmSecure**が、国内の官公庁および金融機関を中心に継続してご採用いただいているほか、新興国の金融機関・病院向けでも堅調に推移いたしました。

## 流通ビジネス

### ■ 主要な事業内容

POS、セルフチェックアウトシステム  
ハンディターミナル、流通ソリューション  
RFID



TeamPoS7000Mシリーズ



TeamPoS/SRモデル20



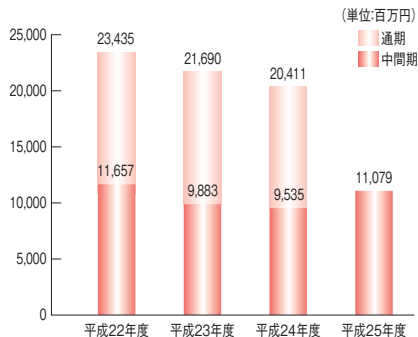
RFID  
(UHF帯IC小型ラベルタグ)



Patio700

### ■ 連結売上高に占める割合 22.7%

### ■ 連結売上高の推移



流通ビジネスにつきましては、景況感の好転を背景に緩やかながら回復の兆しが現れておりますが、依然として小売業における投資抑制の傾向は続いております。

このような状況のもと、パートナー様と連携してビジネス領域の拡大を図るとともに、新型POS端末の市場拡大を推進するなど、積極的に事業を展開いたしました。その結果、国内向けPOS、北米を中心とした海外向けPOS・セルフチェックアウトシステム、国内外向けRFIDが前期に比べ好調に推移したことなどにより、連結売上高は11,079百万円（前年同期比16.2%増、1,544百万円の増）となりました。

POSシステム関連では、グローバル戦略POSとして発売した**TeamPoS7000**が、実績に寄りました。「2012年度グッド・デザイン賞」を受賞したエレガントなデザインのオールインワンタイプ（Aシリーズ）と、従来機からの継承性を重視しつつ機能を拡充したモジュラータイプ（Mシリーズ）を展開し、好評を得ております。国内では、専門店様を中心として当社旧製品をご使用のお客様のリプレースが進んだほか、海外でも、北米子会社と連携して北米を中心としたお客様にご採用いただきました。このほか、来店したお客様がレジの操作を自ら行うセルフチェックアウトシステムにつきましても、国内外で積極的に拡販を推進いたしました。

モバイル端末関連では、店舗業務におけるスマートデバイス活用のニーズが高まってきておりますが、業務用モバイルハンディ**MultiPadV2**が、その堅牢性など専用端末としての優位性を見直され、堅牢に推移しております。また、富士通製**ARROWS Tab**に各種ツールと周辺機器をセットにした業務用タブレットセットの販売を開始するなど、流通ビジネスで培ったノウハウと汎用製品を組み合わせた新しい店舗システムの提供を推進いたしました。

RFID関連では、繰り返しの洗浄に耐えうる強度を持ったリネンタグを主軸に、耐久性の向上や世界主要国の周波数帯への対応など機能の強化を実現するとともに、価格競争力の強化を図りました。国内の協業企業様および海外のパートナー様と緊密に連携したビジネスの推進により、成果をあげております。

## 産業・公共ビジネス

## ■ 主要な事業内容

公営競技関連機器  
表示装置、金型、切削加工  
産業・公共・基盤ソリューション



トータリゼータ端末



フライト情報表示装置



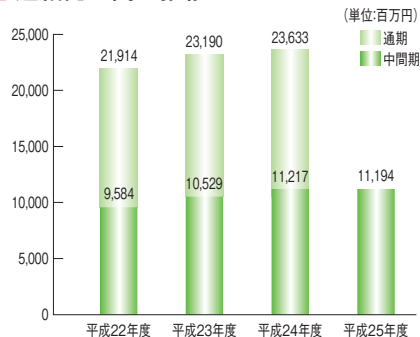
精密切削加工部品



中古車せりシステム

## ■ 連結売上高に占める割合 22.9%

## ■ 連結売上高の推移



産業・公共ビジネスにつきましては、トータリゼータシステムの更改需要が端境期にさしかかってきたことにより、厳しい状況で推移いたしました。その一方で、表示分野および工機分野では、お客様の投資意欲に回復の兆しが見え始め、需要も上向いてまいりました。

このような状況のもと、公営競技ビジネスにつきましては、一連のソリューションをワンストップで提供できる体制を最大限に発揮すべく、グループ丸となって事業を展開いたしました。表示および工機ビジネスにおきましても、一層の選択と集中を図るとともに、競争力の強化に努めました。その結果、当中間期において中古車せりシステムを中心に表示ビジネスが伸長いたしました。トータリゼータ端末の端境期による減少もあり、連結売上高は11,194百万円（前年同期比0.2%減、23百万円の減）と、ほぼ横ばいで推移いたしました。

公営競技分野では、トータリゼータ端末のリプレイス需要が減少するなかで、お客様のニーズを捉えた着実な拡販活動を行い、実績に寄与いたしました。また、平成25年4月に開始された日本中央競馬会様と地方公営競馬様との勝馬投票券相互販売に確実に対応するとともに、これに伴う新規場外発売所の導入需要にも対応すべく、積極的に事業を展開いたしました。このほか、競馬・競輪・競艇など公営競技場や場外券売場の運営を受託する運用ビジネスおよび保守ビジネスが、堅調に推移いたしました。

表示分野では、せり関連におきまして、株式会社ユー・エス・エス様の名古屋新会場開設に伴い、中古車せりシステムのみならず、映像や座席検索などを含めたトータルシステムをご提案し、ご採用いただきました。また、各地方自治体での公共事業の活性化に伴い、宮城県山元町様向けに太陽光発電式のスコアボードをご採用いただいたほか、伊勢崎オートレース様をはじめ各公営競技場様にオッズ表示装置、着順表示装置、および大型映像表示装置を納入いたしました。

工機分野では、切削加工関連・金型関連とともに、主に自動車業界の設備投資需要が緩やかに回復したことから、堅調に推移いたしました。



## サービスビジネス

### ■ 主要な事業内容

金融アウトソーシングサービス  
店舗向けATMサービス  
ヘルプデスクサービス、流通保守サービス



店舗向けATMサービス



ヘルプデスクサービス



ATMトータルアウトソーシングサービス

サービスビジネスにつきましては、金融・流通の各分野を取り巻く経済環境の低迷が長引くなかで、業務の効率化へのニーズは根強く、より高品質で低価格なアウトソーシングサービスへの期待が高まっております。

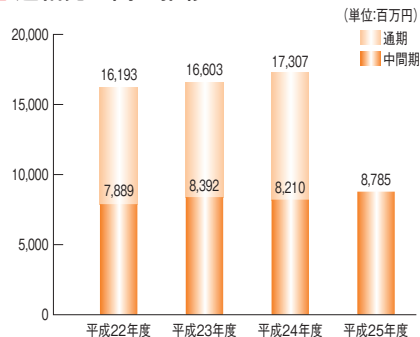
このような状況のもと、お客様のニーズを的確に捉えたきめ細かなサービスをご提供するとともに、開発から保守まで一貫した体制のもと、品質の一層の強化とお客様満足度の向上に努めました。加えて、クラウド化の推進によるお客様の導入コスト低減など、さらなるサービスの充実化を図りました。その結果、店舗向けATMサービスにおいて稼働台数が増加したことに加え、ATMアウトソーシングサービスも堅調に推移するなど、金融サービスビジネスが好調に推移したことを主因に、連結売上高は8,785百万円（前年同期比7.0%増、574百万円の増）となりました。

金融サービスでは、コンビニエンスストアなどATMの設置を希望するお客様（設置店）に対し、銀行の無人出張所の開設やその運用をトータルにサポートする店舗向けATMサービスが伸長いたしました。引き続き、設置台数およびご利用店舗数の増加を図り、全国各地へのサービスの展開に努めてまいります。また、ATMの稼働状況の監視、利用者からのお問い合わせ対応などの業務を代行するATMトータルアウトソーシングサービスも、平成25年4月から新たに株式会社福邦銀行様に監視サービスのご提供を開始するなど、順調に推移しております。

流通サービスでは、店舗システムが円滑に稼働するよう迅速かつきめ細かなサポートを行う保守サービスが実績に寄与いたしました。また、お客様にクラウドでPOSシステムをご利用いただき、ワンストップで導入から運用までをフルサポートする新サービス*TeamCloud/MI*につきましても、積極的な拡販に努めております。

### ■ 連結売上高に占める割合 18.0%

### ■ 連結売上高の推移



## 中国金融市場でのメカコンポーネントビジネス拡大



新型紙幣出金ユニット  
G510-V2



当社製メカコンポーネントを「中国国際金融（銀行）技術・設備展覧会」に出展

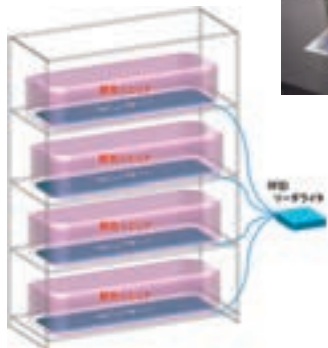
中国金融市場において、当社は、現地の金融装置メーカーにメカコンポーネントを納入し、多くの金融機関にご採用いただいております。

中国では、本年7月に偽造紙幣排除や紙幣の記番号読み取りが通達され、当社では、それに対応した新型紙幣出金ユニットG510-V2を9月より販売しています。

また、本年7月には中国子会社「富士通先端科技（上海）有限公司」に「金融装置技術センター」を開設し、現地ニーズをいち早く吸い上げた製品提案や、現地メーカーおよび金融機関への高い技術サービスの提供を可能としました。

今後も拡大する中国金融市場への拡販に努めてまいります。

## 世界初！指定空間のみを認識するRFIDシェルフセンサーを開発



右上 RFIDシェルフセンサーを実装した棚  
左下 適用イメージ図



UHF帯RFIDは、HF帯などのRFIDより通信距離が長く、一括棚卸や一括検品で効果を発揮するため、小売・アパレル・物流業界を中心に採用が広がっています。

当社と(株)富士通研究所は、指定した空間のみを認識する大型で薄いシート状のアンテナを棚の各段に配置することで、運用上の課題だった読み過ぎや読みムラを解消するRFIDシェルフセンサー技術を開発しました。

図書館・書店・レンタル店やアパレル店舗・倉庫などで使用することで業務の大幅な効率化が期待できます。

RFIDシェルフセンサーは本年12月末までに製品化し、来年1月より販売開始予定です。



## スタイリッシュなタブレットが店舗接客・POS業務に対応

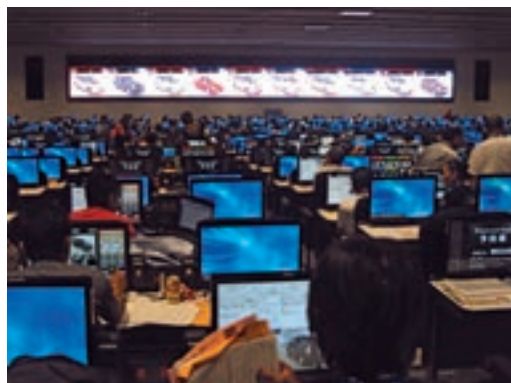


専門店などデザイン性を求める店舗業務でのタブレット活用ニーズの高まりを受け、富士通製最新タブレット「ARROWS Tab」にバーコードスキャナ等の各種ツール・周辺機器をセットで提供します。

従来から販売している専用端末に、このタブレットを加え商品ラインナップを強化したことで、様々なシーン・業務・業態に合わせた最適なソリューションの提供が可能となります。

今後も、流通ビジネスで培ったノウハウと汎用製品を組み合わせた新しい店舗システムをご提供し、顧客サービスの向上、店舗業務の効率化に貢献します。

## 中古車オークション最大手USS様の名古屋新会場にせりシステムを納入



USS様名古屋新会場のバイヤー席

中古車オークション最大手(株)ユー・エス・エス様の名古屋新会場にせりシステムを納入しました。このシステムは、せりだけでなく、来場者のID管理や座席検索、出品車両の撮影・登録も含めたオークション会場トータルシステムです。

来場者はICカード1枚でせりの参加から落札車の搬出、食堂の利用もでき、会場運営者・来場者双方に利便性の高いシステムとなっています。

会場は国内最大級の10レーン、バイヤー席数は1,350席あり、本年8月のオープン時には過去最高の出品台数を記録しました。

今後もお客様のビジネスを共に支えるパートナーとして、総合的なソリューション・サービスの提案・提供をしております。

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成25年9月30日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
<b>( 資 産 の 部 )</b>		
流 動 資 産	44,415	43,710
現金及び預金	3,324	2,020
預 け 金	99	128
売 掛 債 権	20,867	26,814
た な 卸 資 産	15,481	12,240
そ の 他	4,641	2,506
固 定 資 産	19,185	21,120
有形固定資産	12,191	12,449
無形固定資産	4,275	5,813
投資その他の資産	2,718	2,857
資 産 合 計	63,600	64,831
<b>( 負 債 の 部 )</b>		
流 動 負 債	25,827	26,748
買 掛 債 務	16,382	15,352
短 期 借 入 金	2,248	3,749
そ の 他	7,196	7,646
固 定 負 債	3,571	3,431
負 債 合 計	29,398	30,180
<b>( 純 資 産 の 部 )</b>		
株 主 資 本	34,019	34,630
資 本 金	8,457	8,457
資 本 剰 余 金	8,223	8,226
利 益 剰 余 金	17,399	17,986
自 己 株 式	△ 60	△ 39
その他の包括利益累計額	△ 51	△ 205
その他有価証券評価差額金	△ 37	△ 39
繰延ヘッジ損益	160	85
為替換算調整勘定	△ 150	△ 251
退職給付に係る調整累計額	△ 23	—
新株予約権	82	80
少数株主持分	150	145
純 資 産 合 計	34,201	34,651
負 債 純 資 産 合 計	63,600	64,831

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前中間期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売 上 高	48,821	44,963
売 上 原 価	40,629	37,699
売 上 総 利 益	8,192	7,264
販売費及び一般管理費	7,814	8,166
営 業 損 益	378	△ 902
営業外収益	158	41
営業外費用	294	368
経 常 損 益	242	△ 1,229
特 別 損 失	552	11
税金等調整前中間純損失	△ 310	△ 1,241
法 人 税 等	75	△ 261
少数株主損益調整前中間純損失	△ 386	△ 979
少 数 株 主 利 益	9	8
中 間 純 損 失	△ 395	△ 988

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

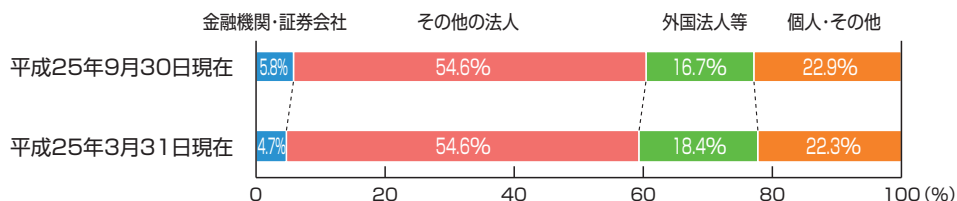
科 目	当中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前中間期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,948	4,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 390	△ 2,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,331	△ 1,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	△ 57
現金及び現金同等物の増減額	1,275	43
現金及び現金同等物の期首残高	2,137	1,894
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,412	1,938

- 発行可能株式総数 43,600,000株
- 発行済株式の総数 24,015,162株
- 株主数 5,152名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数 千株	出資比率 %
富士通株式会社	12,775	53.4
ゴールドマンサックスインターナショナル クレディ・スイス・セキュリティーズ（ヨーロッパ）リミテッド ピービー オムニバス クライアント アカウント	1,606	6.7
ドイツ銀行 アーゲー ロンドン ピービー ノントリティー クライアント 613	688	2.9
富士通フロンテック従業員持株会	339	1.4
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH – CLIENT ACCOUNT	327	1.4
株式会社みずほ銀行	300	1.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	279	1.2
日本証券金融株式会社	212	0.9
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	197	0.8
	192	0.8

（注）出資比率は、自己株式（98,509株）を控除して計算しております。

### ■ 所有者別出資比率の状況



本報告書は、次により記載されております。

1. 百万円単位の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 千株単位の株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

■商号	富士通フロンテック株式会社 FUJITSU FRONTECH LIMITED
■設立	昭和15年11月9日
■資本金	8,457,500,000円
■従業員数	連結:3,293名 単独:1,671名
■会計監査人	新日本有限責任監査法人
■役員	

①取締役および監査役

取締役会長	海老原 光 博	常勤監査役	山下 修 司
代表取締役社長	下 島 文 明	監査役(社外監査役)	守 屋 俊 晴
取締役	鈴 木 俊 也	監査役(社外監査役)	鈴 木 能 之
取締役	松 森 邦 彦		
取締役	寺 本 雅 男		
取締役(社外取締役)	川 上 博 矛		

②経営執行役

経営執行役社長	下 島 文 明	
経営執行役専務	鈴 木 俊 也	コーポレートセンター担当(兼)事業効率化担当
経営執行役常務	松 森 邦 彦	流通事業本部長
経営執行役常務	寺 本 雅 男	グローバルビジネス本部長(兼)輸出管理室長
経営執行役常務	齋 藤 清	公共システム事業本部長(兼)品質保証本部担当
経営執行役常務	五十嵐 勇 人	営業本部長(兼)流通事業本部副本部長
経営執行役常務	今 村 洋	金融システム事業本部長
経営執行役常務	石 岡 達 也	サービス事業本部長(兼)営業本部副本部長
経営執行役常務	吉 田 直 樹	財務経理本部長(兼)業務改革推進室担当(兼)監査部担当
経営執行役	土 田 宣 和	システム製造本部長(兼)新潟工場長
経営執行役	福 永 博 俊	金融ソリューション事業本部長
経営執行役	矢 崎 俊 行	品質保証本部長
経営執行役	増 田 義 彦	Fujitsu Frontech North America, Inc.社長
経営執行役	佐々木 秀 之	事業推進本部長
経営執行役	木 村 敦 則	金融システム事業本部副本部長
経営執行役	立 山 龍 二	営業本部副本部長
経営執行役	豊 美 由 喜 夫	コーポレートセンター長(兼)経営企画室長
経営執行役	渡 部 正 力	金融ソリューション事業本部副本部長(兼)公共システム事業本部副本部長

## ■ 当社グループの主要な事業所

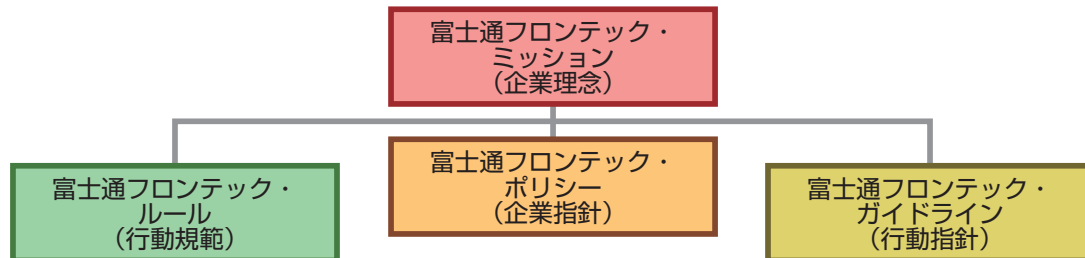
本 店	東京都稲城市矢野口1776番地
工 場	東京工場、新潟工場 FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES (フィリピン工場) Fujitsu Frontech North America, Inc. (北米工場)
営 業 拠 点	営業本部、汐留事務所、大森事務所、東北支店、中部支店、関西支社、九州支店
事 業 拠 点 (ソリューション サービス)	大宮ソリューションセンター 熊谷サービスソリューションセンター 大阪ソリューションセンター 株式会社富士通フロンテックシステムズ (前橋市)

## ■ 主要な子会社

会 社 名	所 在
FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES	フィリピン共和国 (ラグナ州)
富士通先端科技 (上海) 有限公司	中華人民共和国 (上海市)
Fujitsu Frontech North America, Inc.	アメリカ合衆国 (カリフォルニア州)
株式会社ライフクリエイト	東京都稲城市
株式会社富士通フロンテックシステムズ	群馬県前橋市
トータルゼータエンジニアリング株式会社	東京都品川区

当社は、平成20年11月、従来の「FTECコンプライアンス指針」を改訂し、「富士通フロンテック・ウェイ」を制定いたしました。これは、当社グループの存在意義、大切にすべき価値観、社員の日々のビジネス活動における行動の原理原則を示した「基本理念と行動指針」です。

## 富士通フロンテック・ウェイ



### 富士通フロンテック・ミッション (企業理念)

私たち富士通フロンテックグループは、お客様と社会の期待に応え、お客様と喜びを分かち合うため、ヒューマン・インターフェースに関わる最先端の技術で、ハード・ソフト・サービスによるトータルソリューションをグローバルに提供することを使命とします。そして、ものづくりにこだわり、品質にこだわり、人づくりにこだわります。

### 富士通フロンテック・ポリシー (企業指針)

1. 顧客志向の観点で判断・行動
2. 社員が充実して働ける環境づくり
3. 利益を確保して持続的発展につなげる
4. 社会正義・公正ルールへの遵守

### 富士通フロンテック・ルール (行動規範)

- ①公正な商取引を行います  
〔お客様、お取引先へ公平な対応をし、よきパートナーシップの構築により、共存共栄を図ります。〕
- ②人権を尊重します  
〔一人ひとりの人権を尊重し、人種・性別・社会的身分などによる不当な差別や人権侵害行為を行いません。また、一人ひとり人間として尊重し、明るく働きやすい職場づくりに努めます。〕
- ③法令を遵守します  
〔国内外の諸法令はもとより、社会規範、道徳などのルールを遵守します。〕
- ④機密を保持します  
〔お客様情報、個人情報、自社機密情報を責任を持って管理し、絶対に社外に流出させないようにします。〕
- ⑤知的財産を保護します  
〔自らの特許権や著作権などの権利を創造し守るとともに、他者の知的財産を尊重し正当な利用をします。〕
- ⑥業務上の立場を私的に利用しません  
〔業務上の立場や情報を利用して、個人的便宜や利益を図ることを行いません。また、会社の財産を業務遂行の目的以外に利用しません。〕

### 富士通フロンテック・ガイドライン (行動指針)

- ①私たちは、お客様視点で行動します  
〔あなたは、お客様の立場で物事を考えていますか。品質第一で判断・行動していますか。お客様の要望に迅速に対応していますか。〕
- ②私たちは、よき企業人・よき社会人として行動します  
〔あなたは、常識を持ち、マナーやルールを守っていますか。爽やかな挨拶をしていますか。〕
- ③私たちは、まじめで粘り強い努力を惜しみません  
〔あなたは、仕事に全力投球していますか。〕
- ④私たちは、夢を持ち、チャレンジします  
〔あなたは、新しい技術やスキルを学んでいますか。高い目標に向かって努力していますか。〕
- ⑤私たちは、働く仲間を大切にします  
〔あなたは、チームワークを大事にしていますか。全社的な観点で、自部門だけでなく組織間の連携に努めていますか。〕
- ⑥私たちは、地球環境を守ります  
〔あなたは、地球環境のために何かよいことをしていますか。もったいないことをしていませんか。〕



- **株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- **特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- **同 連 絡 先** 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- **事 業 年 度** 4月1日から翌年3月31日まで
- **基 準 日**  
定時株主総会関係 3月31日  
配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当金の支払を行うときは  
9月30日
- **上 場 証 券 取 引 所** 東京証券取引所 市場第2部
- **公 告 方 法** 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によること  
ができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、  
日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL <http://www.frontech.fujitsu.com/ir/kk/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。  
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 単元未満株式買取制度のご案内

当社では株式市場で株式を売買できる取引単位を単元株式（100株）とさせていただいております。単元未満株式は株式市場で売却することができませんが、法律の規定および当社の株式取扱規則に基づき、当社に対し時価で売却すること（買取請求）が可能となっております。本制度のご利用を希望される株主様は、以下のとおりお問い合わせくださいますよう、お願い申し上げます。

証券会社を通さずに単元未満株式をご所有の株主様 (特別口座にご所有の株主様)	上記「株式事務のご案内」に記載の三菱UFJ信託銀行 にお問い合わせください。
証券会社の口座に単元未満株式をお預けの株主様	お預けの証券会社にお問い合わせください。



ホームページ

<http://www.frontech.fujitsu.com/>

---

**富士通フロンテック株式会社**

〒206-8555 東京都稲城市矢野口1776番地

